

浪江中だより

平成30年度 第39号
2019. 3. 13
文責 校長 嶋原 俊洋



教育目標

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒
- ◇ 自分に自信を持ち、行動できる生徒（今年度重点目標）



ご卒業おめでとうございます

本日この佳き日に、卒業証書を授与された3年生の皆さん、卒業おめでとう。また、ご家族の皆様にも重ねてお祝い申し上げます。お子様のご卒業、おめでとうございます。

さて、浪江中学校卒業証書授与式も今年度第49回をもって最後となります。よって、本日卒業証書を授与された3名の皆さんが、浪中最後の卒業生となりました。私自身、万感の思いが込み上げてまいりました。別れの寂しさと、大きく成長して巣立っていく喜びと…



3年生晴れの姿

統合浪江中が昭和45年に創立以来、9,937名の卒業生を輩出し、各界で活躍される多くの先輩方がいます。そのような伝統ある浪江中学校卒業生の一人として、皆さんには胸を張って、堂々とこれからの人生を生きてほしいと願っています。卒業式でもお話ししましたが、多少のことにへこたれず、たくましく歩んでください。不透明な世の中ではありますが、前を見て、歯を食いしばって生きていけば、必ず光は見えてきます。皆さんの未来に幸多きことを祈っています。

7年間の支援に感謝申し上げます

柴義彰さん、ありがとうございました



柴さんから記念品を授与

今年も卒業式の予行に合わせて柴義彰さんが来校され、生徒4名に、卒業・進級祝品を贈呈していただきました。

柴さんは、横浜市遍照寺のご住職で、震災以来7年間に渡り、浪江中学校のために物心両面から支援をいただいた方です。震災の翌年5月には、パソコン25台、その他多くの支援物資を自家用車に積み、針道校舎まで駆けつけてくださいました。

これまでのご厚情に、心より感謝申し上げます。